

会議録

令和6年10月16日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和6年度第4回定例会
開催日時	令和6年8月21日(水) 18時30分から20時00分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、辻康一、荒井茂、石川健、小池教之、下坂小百合、松本静、青木美紀子、城石雅行、ギログリー江美、荒井容子(オンライン参加)、高井正(オンライン参加) 職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、根岸分館長(芝久保分館長)、一之瀬分館長(谷戸)、安島分館長(保谷駅前)、星野事業係主任
欠席者	高橋浩一
議題	1 審議事項 (1) 令和6年度第2回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和6年度第3回定例会会議録(案)について 2 主催事業について (1) 令和6年度公民館主催事業報告について(資料2) (2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料3) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和6年度第1回利用者懇談会について (2) 第12期公民館運営審議会紹介紙について (3) その他 (4) 令和6年度第5回定例会の開催について
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和6年度第2回定例会会議録(案) 資料2 令和6年度公民館主催事業報告書 資料3 令和6年度公民館主催事業計画書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(1名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	1 審議事項 (1) 令和6年度第2回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和6年度第2回定例会会議録(案)について(資料1)承認する。 (2) 令和6年度第3回定例会会議録(案)について ●令和6年度第3回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し1週間をめどに修正意見を事務局に送ることとする。 2 主催事業について (1) 令和6年度公民館主催事業報告について(資料2) ○A委員 「SDGsロビーフェスタ田無」(田無)をテレビで拝見した。参加者された荒井茂委員から当日の様子などを教えてほしい。 ○B委員

子どもたちが大人に混じって一生懸命に SDGs について話している姿に感動し、未来は明るいと感じた。中学生が積極的に SDGs に取り組んでいる。若い世代と交流できて、嬉しく思った。

○A委員

昨年度も同様の事業を実施しており、小中学生が参加している。昨年度の参加者が今年度も参加しているのか、今年度、新しい方が参加しているのか、中学校を卒業した方は参加しているのか。

○分館長(田無)

昨年度の参加者で希望した方には、今年度の事業の案内を送っている。中学3年生になったので参加できなかった方もいるし、兄弟が参加した事例もある。今後、事業の案内を受け取ることを希望する方には、中学校卒業後も案内を送る予定。

(2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料3)

○C委員

人権講座「子どもたちの貧困に向きあう地域をつくる」(保谷駅前)について、とても大事なことをテーマとしている。対象として、どのような参加者(層)をイメージして企画したのか。

○分館長(保谷駅前)

成人を対象としている。子どもたちの貧困について実態を知っていただき、地域の大人として何ができるかを考えていただくことを事業目的としている。

○C委員

成人一般を対象とし、関心を持つ層の拡大を図ることは大切だと考える。加えて、今回の課題について活動している団体等に参加を働きかけることについても、検討していただきたい。

○分館長(保谷駅前)

検討していきたい。

○D委員

人権講座(保谷駅前)について、西東京市でヤングケアラーなどの課題に取り組み、情報を把握している庁内関係部署との連携はあるのか。

○分館長(駅前)

講師に様々な専門家を依頼しているが、庁内関係部署との連携は行っていない。

○D委員

関係部署と情報共有し、連携していくことも必要だと思う。関係団体に情報提供してもらうこともできるだろう。

○A委員

子ども食堂に関わっている団体は関心が高いのではないかと。子ども家庭支援センターに情報提供すれば、チラシの配布やポスターの掲示等について協力してもらえらると思う。

○E委員

ヤングケアラーの問題について、家庭の貧困等でケアラーとなっている子どももいるが、高齢者を介護しているヤングケアラーもいる。地域包括支援センターは、ヤングケアラーの問題を我がこととして対応していて、どうケアしていくか、考えている。この問題は、いろいろな角度から考えていくことができる要素を含んでいる。ヤングケアラーの子どもたちは、自分たちがケアラーだと感じていない。子どもたちの本音を聞く機会が大切だと思う。高齢者支援課も子ども食堂や公民館など、子どもたちの居場所で子どもたちの実態を知ることがカギになるととらえ、関心を持っている。

○A委員

高齢者対象講座「基本から学ぶスマートフォン」(保谷駅前)について、学習内容に操作等の基本を学ぶとあるが、芝久保公民館の同様の内容の講座では、基本の操作以外に、災害時の情報収集にも役立つアプリを学ぶとされていた。この講座でも、何か高齢者向けのテーマを設定してもよいのではないかと。

○分館長(保谷駅前)

検討したい。

○F委員

芝久保公民館は、令和4年度に防災講座を実施した際、災害時に高齢者がスマートフォン等を使いこなす必要性を感じ、令和5年度からスマートフォンの使い方を学ぶ講座を実施している。

○事業係長

高齢者対象講座（保谷駅前）は、市が行うデジタルデバインド対策の一環として実施する。講師は芝久保公民館の講座と同じだが、講座終了後、参加者をフォローするなど、公民館らしい方法で実施したい。

○D委員

中高生が企画する小学生防災講座「避難所サバイバル」（谷戸）だが、第3回の学習内容について、「2回の講座終了後、ふりかえりを実施。企画から実施までのプロセスの発表へ取り組む」とあるが、どこかで発表を行うのか。

○分館長（谷戸）

講座の第3回目で発表を行う。発表内容については、第1回、第2回終了後に、振り返りを行い、参加者で話し合っ決めて。

○D委員

中高生が企画する小学生防災講座（谷戸）について、事業目的・事業内容に「講座参加者の小学生、中高生、そこに关わる保護者を含め…」とあるが、保護者も参加するのか。

○分館長（谷戸）

昨年度は、講座参加者の保護者や近隣の地域の方たち、更には学校関係者などが第3回目の講座に参加し、一緒に防災や自宅の備えなどについて話し合った。

○B委員

多世代交流講座「掘って描くさつまいも～みんなで収穫&五感でアート～」（芝久保）について、11月3日に参加者が収穫し、その後11月24日にさつまいもをモチーフにして絵を描く流れだが、さつまいもは保管しておくのか。

○分館長（芝久保）

さつまいもは参加者一人につき一個ずつ公民館で預かり、11月24日まで保管する。それ以外は持ち帰っていただく。

○公民館長

五感でアートについては、さつまいもをスケッチするだけでなく、いろいろな色を混ぜるなどインスピレーションをはたかせて、参加者自身が五感で感じたアートを描いて互いの個性や違いを認め合う機会を提供する内容となっている。また、さつまいもを口の中に入れて時の食感を思い出しながら美味しかったなども絵の中に描いて表現していく形となっている。

○G委員

現代的課題を考える講座「しあわせココロ学～人や社会への思いやり～」（芝久保）について、事業目的・事業内容の1番目に書かれている「自分で守っていく」という中身と、2番目に書かれている「地球温暖化、エシカル消費」とのつながりがわかりにくく、パッチワーク的な印象を受ける。一つ目は、自分のストレスに自分でどう対応するか、情報をどのように取舍選択するか、という内容だが、そこから、なぜ2番目の「地球温暖化、エシカル消費」が出てくるのかわからない。この2つは、若干向いている方向が異なるような気がする。「しあわせココロ学」という事業名が「常に周りを配慮した生き方やそのような心を持っていると幸せになれます」などの感覚であれば、むしろSNSでの情報発進の仕方などに向くように思う。両方学ぶことは良いことであるが、ストレスに自分がどう対応していくかということが、いきなり世界規模で「地球温暖化、エシカル消費」にいくことにつながりがわからない。

○分館長（芝久保）

心の健康のバランスを持続・維持していくためにストレス解消の仕方などを学んで自分にゆとりをもち、それを社会人としての思いやりにつなげ、心豊かに生活していくことに発展できる学習内容にしたいと考えている。また、SNSについても、情報を飛び交う中でどのように捉えてどう伝えていくかをどう組み込んでいくか、講師と調整している。

○A委員

第6回の講師は、乳幼児を育てている母親が、顔を合わせて個人的な悩みを吐露するという進め方をする方だが、一般の方もそこに参加するのか。そうであるならば、乳幼児を育てている参加者の個人情報を守られ、安心して話せる場となるよう、配慮してほしい。立場が違う人たちが参加すると雰囲気もかわる。その点にも配慮をお願いしたい。

○分館長（芝久保）

ワークシートを使用して、配慮しながら進めたい。

○H委員

多世代交流講座（芝久保）について、全体的に、この時期「防災」に関する講座が多くなり、紙面が重苦しくなりがちなか中、事業名に「さつまいも」が入るこの講座があって、少し救われる気持ちになった。鑑賞会で作品の評価をするのではなく、作品の良いところ、作者の作品への思いを大切にす、としているところがよいと思った。評価をしないと明言していただく、自分を出しやすくなると思う。

上映会（ひばりが丘）について、2回実施されるが、個々に申し込むのか。

○事業係長

上映する作品の内容が異なるため、それぞれに申込期間を設けている。

○D委員

現代的課題を考える講座（芝久保）について、ストレスの上手な向き合い方と地球温暖化、エンカル消費とのつながりはわかりにくい。つなげるのであれば、そのような議論をしてほしい。

第41回芝久保公民館まつり（芝久保）について、陶芸の全参加サークルによるワークショップはどういう経緯で行うことになったのか。今までも実施しているのか。

○分館長（芝久保）

今までも実施している。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

1点目は、クールシェアスポットについて、全ての公民館のロビーを7月1日から9月30日まで開放している。また、改正気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定について、適当な冷房設備が備わっていること、熱中症特別警戒情報が発表されたときは、クーリングシェルターを市民等に開放できること等の要件等を満たす施設を認定しホームページ等で周知する。

2点目は、教育委員会の開催について、第7回定例会（7月23日）が開催された。また、第8回定例会（8月20日）が実施され、令和6年度西東京市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和5年度分）報告書が法律の基づいて提出された。公民館の評価としては、項目番号12（P28）各種機関・組織等との連携（まちなか先生（出前講座）の実施、項目番号13（P30）学びの活動の循環の形成、項目番号14（P32）誰でも学べる学習機会の提供において、学校を核とした地域づくりを進められたことから、評価を「A」とした。公民館の事業指標等については、事業参加者アンケート集計結果内容に「満足」「ほぼ満足」と回答した参加者の比率で諮っている。さらに、点検及び評価に関する有職者からの意見として、基本方針4について、「西東京市の公民館は、指定管理として代行しているのか」との質問に対し「特定の人だけでなくあらゆる世代の方に対して、直営で行っている」と回答したところ非常に驚かれた。また、各公民館において多世代に向けて多種多様な事業の取組が多くあり、特にコロナ後は就労世代における、オンラインと対面とのハイブリッドで行った講座で、不登校の子や進学相談など課題を抱えている当事者の子どもがオンラインでの参加もあり、今後もオンラインを活用することでさらに参加者の幅が広がり、続けてほしいとの感想があった。

3点目は、公民館事務報告（令和5年度）について、西東京市公民館運営審議会、公民館市民企画事業、公民館だよりなどの全体的な様々な取組を教育委員会に説明した。公民館につて

は、公民館の利用に関する事項で、「利用可能件数」の違いや「1日の平均利用者数」の違い、市民企画事業の実施事業数、公民館ロビーの利用状況数（Wi-Fi 設置）などの質問があった。最後に、第2回総合教育会議（8月1日）が開催された。令和6年度教育に関する重点施策に基づく事務事業について、学びの機会の充実と地域の学習資源の活用で、障がいがある方と一緒に学べる事業にさらに力を入れていく。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より、8月5日開催の公民館だより編集室会議について報告。10月1日号一面特集について検討した。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より、7月25日開催の委員部会運営委員会について報告

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和6年度第1回利用者懇談会について

- 各館の利用者懇談会に出席する公運審委員を確認

(2) 公運紙紹介紙について

- 掲載内容を確認

(3) その他

なし

(4) 令和6年度第5回定例会の開催について

日時：令和6年9月18日(水) 午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室